

第二十六回 能楽若手研究会 東京公演

国立能楽堂の養成研修了生をはじめとした若手能楽師が名作に挑む「若手能」。

今回は、静御前と佐藤忠信の機転を描く能『吉野静』、シテの長大な一人語りが目玉の狂言『文蔵』、光源氏が須磨の地で生前の姿を偲ぶ能『須磨源氏』を、養成研修了生を中心とした配役でお届けします。また、好評の字幕表示システムを、用意しております。

若手能楽師たちの熱い息吹を感じていただけましたら嬉しく思います。

吉野静 よしのしずか

源義経は兄である源頼朝と不仲になり、吉野山に身を隠していましたが、吉野山の衆徒に命を狙われたため、落ちのびることになります。義経の家来である佐藤忠信は、主君を無事に逃げさせるため、衆徒が多く集まる大講堂に変装して潜入します。忠信は、頼朝・義経兄弟の和睦の噂や、義経の武勇を衆徒たちに吹き込みます。

そこへ現れた義経の恋人・静御前は、忠信と事前に示し合わせた通り白拍子の装束を身に纏い、たおやかに舞を披露します（「中ノ舞」）。衆徒の中には、静御前の舞に見とれる者もいます。義経を恐れる者もいます。義経が無事に逃げのびたと知った静御前と忠信は、心静かに都へと帰って行くのでした。

文蔵 ぶんぞう

主に無断で旅へ出た太郎冠者は、主に責められ、京都へ行っていたことを白状します。主は自分の伯父の家で太郎冠者をご馳走に預かったことを知り、何を食べたか聞き出そうとしますが、太郎冠者は料理の名前を思い出さず、主の愛読書の中に出てくる物を食べたと言ったので、主は『源平盛衰記』石橋山の合戦の一節を讀んじます。

須磨源氏 すまげんじ

船旅の途中、藤原興範らは、春霞のたちこめる須磨の浦へと到着します。そこへ薪を背負った老人が現れ、『源氏物語』に記述のある「若木の桜」を眺めようと腰をおろします。興範に声をかけられた老人は、須磨が光源氏ゆかりの地であることを述べます。そして、『源氏物語』の巻名を織り交ぜながら、光源氏の生い立ちや須磨への流刑、都に帰ってからの栄耀栄華を語り聞かせ、月夜に自分を待っては奇跡が起きるであろうと言いつつ姿を消します。

興範らが須磨の浦辺に臥すと、月明かりのもと、光源氏の霊が兜率天より降り立ちます。光源氏は生前と同じく優雅な衣を身にまとい、典雅なる舞を舞います（「早舞」）。光源氏が舞い取めると、夜は白々と明けぬくのでした。

平成29年 3月4日 [土]

午後1時開演 (終演予定:午後4時10分)

● 字幕表示付 (日本語・英語チャンネル)

入場料金 (全席指定) 正面 / 3,100円 脇正面 / 2,600円 中正面 / 2,100円
学生: 脇正面 / 1,800円 中正面 / 1,500円

※障がい者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

発売日 電話・インターネット予約開始 / 平成29年 2月9日 (木) 午前10時より
窓口発売開始 / 平成29年 2月10日 (金) 午前10時より

(チケット売り場 午前10時～午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

電話 国立劇場 チケットセンター (午前10時～午後6時)
0570-07-9900 03-3230-3000 [一部IP電話等]

インターネット パソコン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/>
スマートフォン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m>

※詳細は、上記ホームページをご覧ください。

●プレイガイド=チケットぴあ 0570-02-9999 [PC・携帯] <http://pia.jp/>
●e+(イープラス) [パソコン] <http://eplus.jp/> [ケータイ] <http://eplus.jp/ntj>



【交通のご案内】
JR中央・総武線/千駄ヶ谷駅下車 徒歩5分
都営地下鉄大江戸線/国立競技場駅下車
A4出口徒歩5分
東京メトロ副都心線/北参道駅下車
出口1または2 徒歩7分

お願い ●出演者などの変更の場合はご了承ください。
●駐車場がございませんので車でのご来場はご遠慮ください。
●開演中は、時計等のアラームや携帯電話の電源はお切りください。
●開演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。

国立能楽堂では第十期能楽(三役)研修生を募集中です!
詳細はホームページをご覧ください。



国立能楽堂

主催=独立行政法人日本芸術文化振興会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
TEL. 03-3423-1331(代) <http://www.ntj.jac.go.jp/>